

かながわ授業の工夫

全校種	保健体育	全学年
<h2>スポーツを「つくる／はぐくむ」楽しさを実感できる授業の工夫</h2>		

スポーツをつくる／はぐくむとは？

既存のスポーツの枠組みや考え方のみにとらわれることなく、それらを不斷に柔軟に見直し・改善し、最も適切・有効な、あるいは個々の状況等に柔軟に応じた方法を考え出したり、創り出したりすることです。

【球技ネット型（テニス）での実践例】

指導の工夫① 用具の工夫



ボール



ラケット

弾み方や滞空時間の異なるボール、柄の長さや跳ね返り方が異なるラケット等、生徒が様々な種類の用具を試し、一人ひとりに合った用具を見つけられるようにしました！

生徒からは、「2人で持ったジャージでボールを打ち返すのも面白そう！」という意見が出ました。自分たちのアイデアで用具を「つくる」のも面白いですね！



指導の工夫②

ルールの工夫

2度タッチがあれば…



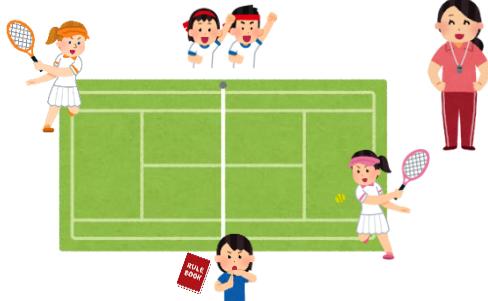
【問】どのようなルールがあれば、みんなが楽しみながらラリーを続けられると思いますか？



生徒がルール(人数、ボール、判定方法等)を考えたり、選んだりして、競技のルールを「つくる」場面を設定しました！

指導の工夫③

大会の企画・運営



自分達でつくり、はぐくんだテニスを、みんなで実践する場として、テニス大会を企画・運営しました！生徒は、選手、審判、サポーター等の役割分担をして大会に参加しました！

授業に取り組んだ生徒の声

スponジボールは滞空時間が長い。その分、ボールを見る
ことができ、打つタイミングが分かった。



自分たちでやりやすく平等なルールを決めてから戦うとより個性が出ていて、普段のテニスとは違った良さがあると感じた。



自分達でつくった大会を自分達で進行することで、
達成感をみんなで感じることができた。



詳細は、総合教育センターwebサイト、長期研究員 研究報告(R6)をご覧ください。